

# ひだまり

HIDAMARI

春号  
2022  
vol.203



## 産婦人科ロボット支援下手術を開始

産婦人科ロボット支援下手術関連スタッフ

### 目次

- |       |  |    |                  |
|-------|--|----|------------------|
| 02-03 | 特集<br>「産婦人科ロボット支援下手術を開始」                   | 06 | 外来診療日一覧表（4月1日現在） |
| 04    | Hospital Now!!<br>「泌尿器科関連ロボット支援下手術について」    | 07 | 病院からのお知らせ        |
| 05    | 看護師は見た！「患者の目線」<br>レシピ de 元気！「春キャベツの胡麻マヨ和え」 | 08 | ひだまり NEWS        |

より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます

# 特集

Topix

## 「産婦人科 ロボット支援下手術を開始」

産婦人科長

黒田 健治

焼津市立総合病院産婦人科では、2022年2月より良性子宮に対する子宮摘出手術のロボット支援下・腹腔鏡下腔式子宮全摘手術の施設基準を満たし、保険適用が認められました。すでに泌尿器科では2019年より現在まで、前立腺や腎臓の悪性腫瘍に対しロボット支援下手術を100件以上実施しております。（詳細はP4 Hospital Now!!で紹介しています）

このロボット支援下手術は、現時点で最高レベルの低侵襲手術と考えられ、日本国内でも急速に普及しており、現在300台以上が稼働しています。この志太榛原地区でも計3台導入されておりますが、産婦人科が行う手術は現在、当院だけが行っています。



当院で稼働中のダ・ヴィンチ Xi

### 産婦人科での手術適応

産婦人科での手術適応は、月経困難症や貧血症状を呈した子宮筋腫や子宮腺筋症が対象となります。これらの疾患は、女性ホルモンの分泌に依存するため、30歳前後より徐々に症状が出現・進行し、閉経期までの20年間あまり、女性のライフスタイルに負担をかけることがあります。日々、就労・家事・育児・介護などに追われる方々も多いと思いますが、この疾患



が影響すると痛みや貧血のため、体が思うように動かないこともあります。

月経困難症は、発症した病態や箇所により、下腹部痛・腰痛・腹部の膨満感・嘔気・頭痛・疲労・食欲不振などの症状がみられますが、個人差があることが特徴です。また、月経時以外にも不定期に生じることがあります。



治療の初期では、鎮痛剤や鉄剤で対応できますが、効果が不十分な場合、ホルモン治療を行うこともあります。しかし、子宮筋腫や子宮腺筋症がより増悪すると、薬物治療では症状を改善することが困難となり、手術も選択肢の一つとなることもあります。

手術の方法は子宮筋腫であれば、筋腫のみの核出手術あるいは子宮全体を摘出する手術を選択します。筋腫核出手術は、今後も妊娠・出産を希望される方や、子宮内腔に突出する小さな筋腫（子宮粘膜下筋腫）に対して行います。今後妊娠をご希望されない方で腫瘍が大きく発育した場合は、治療の根治性に重点を置くため、子宮摘出手術を行います。

### 従来の手術方法

従来、子宮摘出は開腹手術で、腹部に十数センチの手術創（傷）から摘出していました。術後は創部の痛みが数日以上続き、体力の消耗から、1週間以上の入院期間や2週間から4週間の自宅療養期間を必要とすることもありました。

その後、腹腔鏡と呼ばれる、内視鏡器材の登場により、小さな創で手術が可能となりました。開腹手術では針と糸で血管を結び止血を行っていましたが、技術

の進歩によって、組織を挟むだけで血管を塞ぐシーリングデバイスと呼ばれる器材も登場しました。腹腔鏡下手術は 1990 年代より急速に普及し、当院でも早期に導入後、卵巣・卵管の手術（卵巣嚢腫・卵管妊娠など）を数多く行いました。

ただし、これらで用いる鉗子（かんし）と呼ばれる器材は、直線状のため適切に角度や向きを調整することは熟練した技術を必要としました。

さらに鉗子の長さ（約 30cm）から、術者の手指の振れ（手ブレ）が拡大することもありました。また、多くの内視鏡器材のカメラは 2D であるため、術者が見るディスプレイからの映像は、遠近感が乏しく立体的ではありません。

## ロボット支援下手術とは

そういった弱点を克服した医療機器として、腹腔鏡下手術を支援するロボットが米国で開発されました。このロボット支援下手術の大きなメリットは、身体への負担が少ない腹腔鏡下手術の特長を活用しながら、人間の手以上の複雑かつ繊細な手術が可能であることです。

ロボット支援下手術は、手術台から離れた所にある操縦席から、鉗子やカメラを装着したアームを操作し手術を行います。術者は操縦席にある画像を見ながら、手元のコントローラで、患者様に設置された 4 本のロボットアームを遠隔操作することができます。鉗子の先端には関節があり、手の限界を超えた動きが可能で、狭い場所でも 360°自由に器具を操作でき、手ブレすることはありません。

また 3D カメラによる映像は立体視されることで、



離れた操縦席より器械を操作

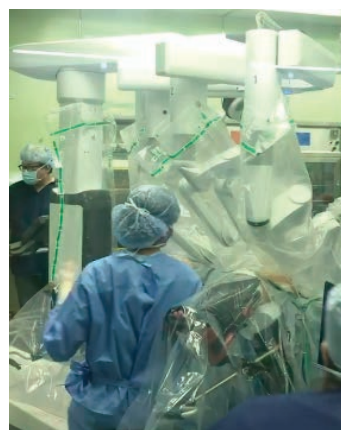


4本のロボットアーム

操作する位置（奥行き・遠近感）を正確に認識することが可能となります。

これらの長所を活かすことで、婦人科で行うロボット支援子宮全摘手術では、正確に子宮を手術することができ、より少ない出血量で患者様への負担が少なく、普段の生活に短期間で復帰することが可能となりました。

当院には最新の第 4 世代「ダ・ヴィンチ Xi」を導入しています。今後は、適応疾患を女性特有の疾患である骨盤臓器脱（子宮脱・子宮下垂）に対して、ロボットを用いた「仙骨脛固定術」を、当院でも実施可能となるよう、現在準備を進めております。



地域の皆様へは、最新の高い医療技術を提供し、安心して治療を受けられることを使命としておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



## 「泌尿器科関連ロボット支援下手術について」

泌尿器科長 松本 明彦

### ロボット支援下手術とは

ロボット支援下手術について、みなさまご存知でしょうか。当院では2019年から手術支援用ロボット（製品名：ダ・ヴィンチ Xi、図1）を導入し、男性の前立腺がんに対して前立腺を摘出する手術を開始しました。

昨年は45名の患者様がこの手術をお受けになり、累計の件数では100件を超えております（図2）。

入院期間は10日程度で、退院後比較的早期にもとの生活に戻れることから、実際に手術をお受けになった方の中には、お知り合いで同じロボット支援下手術を受けた方のお話を参考にしたとおっしゃる方も増えています。

ロボット支援下手術は、今までの腹腔鏡を使った手術に比べて、手術時間が短く、出血も少ないなど安全性が高く、術者は立体的な3D画面を見ながら、手ブレ防止機構のある鉗子やカメラを両手で操縦し、きめ細かな手術手技を実現しています（図3）。現在では前立腺がんの方以外にも、腎臓がんで比較的サイズの小さい方や、尿管の狭窄で腎盂が拡張した方などについても、ロボット支援下手術による治療を取り入れております（表）。



図1  
当院で稼働中のダ・ヴィンチ Xi



図2  
ダ・ヴィンチ手術当院  
100症例達成の記念盾



図3  
ダ・ヴィンチ Xi でシミュレーション中の術者

表：泌尿器科で行っているロボット支援下手術の一覧

導入年月	術式	対象疾患
2019年7月	ロボット支援前立腺全摘除術	前立腺がん
2020年1月	ロボット支援腎部分切除術	腎がん
2021年9月	ロボット支援腎盂形成術	腎盂尿管移行部狭窄症

### 当院泌尿器科の体制

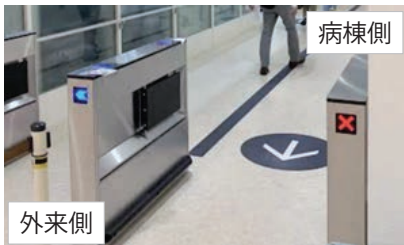
ロボット支援下手術をご希望される患者様が年々増えていることに対応して、ロボット支援下手術を行う資格を持った泌尿器科医師は4名となり、そのうち1名は学会認定のロボット支援下手術の指導医（プロクター）資格を取得しました。現在は週2件の手術枠で、ご病状に合わせて、前立腺がんについては男性機能を保たせる目的で海綿体神経を温存する手技や、進行が予想される場合には骨盤内のリンパ節も同時にロボット支援下手術で摘出する術式などをプランニングすることで、患者様のニーズに即した最善の手術となるよう心がけております。

その他、すでに保険診療で認められている膀胱がんに対する膀胱を全摘出する手術についても、当院で導入を検討しており、今後新たに認められる術式についても積極的に導入できる体制を、ロボット支援下手術導入当初から東京大学泌尿器科学教室との技術提携により整えております。

最後に、当院泌尿器科は常勤医師6名、非常勤医師2名の体制で、そのうち日本泌尿器科学会認定の指導医は5名と志太榛原地区の中でも充実した施設の1つとなっております。手術については、ロボット支援下手術をはじめとして、腎尿管結石、膀胱腫瘍、前立腺肥大症に対する内視鏡手術、腎がんや腎盂尿管がんに対する腹腔鏡手術、腎不全における血液透析用の内シャント手術、腹膜透析用のカテーテル手術、腎移植手術など様々な疾患へ対応が可能で、昨年は当科の年間手術件数は1,000件を超えました。これからも地域に根ざして、より安全で患者様ご家族に安心を届けられる治療を目指して、新型コロナウイルス感染症対策を取りつつ日々努力してまいります。

## 患者の目線

看護師は見たっ!!



外来と病棟の通過ゲート

1年前の1月、私は東京にある病院で手術を受けるために入院をしていました。

その頃、東京では新型コロナが蔓延していて、毎日新規感染者が3000人以上更新され、私は不安に駆られていました。現在よりも検査や治療は確立されておらず、病院独自の感染症対策が行われている感じでした。入院時患者全員PCR検査を行い、結果が出るまで部屋で待機、陰性と確認できれば廊下に出るのが許されました。私が入院した〇病院は、数年前に建て直したばかりの最先端の病院。完全に外来と病棟が隔離されて、外来の検査に行く時は患者が許可書を携帯し、駅の改札口のような機械にかざし、それが開くとそこから出られるというシステム。体の大きい守衛さんがいてドキドキしたのを覚えています。

病棟では、看護師全員がN95という特殊なマスクをしており、その上に不織布マスク、フェイスシールドをしていました。問診中は、患者の私より看護師の方が息切れしているようにみえました。ほとんどの看護師は、「今一番つらいのは何か」と聞くと「感染と肌荒れ」と答えてくれました。医療従事者の苦勞は、感染症対策、過勞、睡眠不足、マスクによる皮膚炎等、私から

5B 病棟看護師

小田千津子

見ても明らかでした。医師もただ面談するだけなのに、水中眼鏡かと思うほどのゴーグルをしてきたこともありました。

さて患者の側からいうと、24時間マスク生活で食事と歯磨き以外はマスクをとってはいけないと指導されていたので、寝ているときもマスクをしていました。万が一食事中に医師や看護師が来たらすぐにマスク装着し会話をするという徹底ぶり。会話が思うようにできない、相手の表情が読み取れないということは、ただでさえ、病気で弱っている患者さんの闘病意欲を削り取るものだとつくづく感じました。

コロナ禍での手術のため家族や自分の感染のリスクを考え、一人で病院に行き手術をして帰ってきました。当院でも、感染対策として面会の制限をしています。患者さんは家族から離れ、ただでさえ不安な中、「家族の顔を見たい」「声が聞きたい」と思うことでしょうか。私たちは、患者さんの思い、家族の思いをそれぞれに伝える大切な役割を担っているんだと改めて感じています。まだまだ実現はしませんが、いつか昔話のように今の状況を笑って話せる日が早く訪れる事を願っています。



### 「春キャベツの胡麻マヨ和え」



熱量134kcal、蛋白質3.5g、脂質10.9g、塩分0.7g

問合先 栄養科 054-623-3111(代)

材料 4人分	春キャベツ	200g	塩	小さじ 1/5 弱
	ニンジン	40g	ホールコーン缶	32g
	キュウリ	80g	ロースハム	30g

A	マヨネーズ	40g	醤油	小さじ 1	砂糖	小さじ 2/3
	白ごま	16g	酢	大さじ 1/2		

- ① キャベツ、ニンジン、ハムはそれぞれ短冊切りにし、ニンジンはさっと茹で水気をきる。(ハムの塩分が気になる方はさっと茹でこぼしても良い)
- ② キュウリは縦半分にして斜め薄切りにし、塩をあて揉んで水気を絞る。
- ③ Aを混ぜ合わせ①と②、水分をきったコーンを和える。

★春キャベツは葉が柔らかく甘みがありみずみずしいので、サラダなど生食がおすすめです。

# 外来診療日一覧表

2022年4月1日現在

○…診療日 検…検査

診療科	午前				
	月	火	水	木	金
総合診療内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
腎臓内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
呼吸器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
消化器内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)		○	○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要・予約制)	○		○	○	○
脳神経内科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○	○	○	○
小児科	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○
整形外科 (予約推奨)	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要・予約制)	○		○		○
脳神経外科	○	○	○	○	○
皮膚科	○	○	○	○	○
泌尿器科	○	○	○		○
透析	○	○	○	○	○
産婦人科 (予約制)	○	○	○	○	○
眼科	○	○		○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要・予約制)	○	○	○	○	○
放射線科 (予約制)			○		○
歯科口腔外科	○		○		○

診療科	午後(予約制)				
	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (紹介状必要)	○	○			○
血液内科 (紹介状必要)		○		○	○
消化器内科 (紹介状必要)		○	○	○	○
循環器内科 (院内他科依頼)	○		○	○	○
代謝内分泌内科 (紹介状必要)	○	○		○	
脳神経内科 (紹介状必要)	○		○	○	○
精神科 (新患受入休止)	○	○		○	○
小児科	○	○	○	○	○
形成外科 (紹介状必要)	○				
産婦人科		検		検	
泌尿器科			検		検
透析	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科 (紹介状必要)	○		○	○	
歯科口腔外科	○		○		○

**特殊外来** 完全予約制 △午前 □午後 一部毎週開催していない外来もあります。詳しくはお問い合わせください。

特殊外来(完全予約制)	月	火	水	木	金
腎臓内科				□	
腎臓内科 膠原病・リウマチ (紹介状必要)				□	
腎臓内科 糖尿病性腎症パス (紹介状必要)	△□		△□		
脳神経内科				△	
脳神経内科 認知症外来 (紹介状必要)				△	
小児科				□	
小児科 心臓				□	
小児科 エコー					□
小児科 すこやか			□		
小児科 療育支援			□		
小児科 川崎病				□	
小児科 乳児検診	4ヶ月児 10ヶ月児	1ヶ月児			
小児科 シナジス	□				
外科				△□	
外科 スキンケア				△□	
外科 乳腺	△□				△□
外科 血管外科					第1・2・4 △
外科 呼吸器外科			△□		
外科 心臓外科					第2・4 □
形成外科	レーザー	□	□		
脳神経外科	脳卒中		□		
産婦人科	不妊治療	△	△	△	△
産婦人科	助産師	△□	△□	△□	△□
産婦人科	妊婦外来	□		□	
その他	リンパ浮腫		□		
その他	アロマ		□		

- ◆受付時間
    - ・午前 8時00分～11時00分 (再来受診) 8時00分～11時30分
    - ・午後 12時30分～15時00分
  - ◆予約受付
    - 054-623-3111(代表) ※受診科をお知らせください。
    - ※午後の診察はすべて予約制です。ご注意ください。
  - ◆外来担当医表
 

外来担当医表については、毎月1日付でホームページを更新していますのでご覧ください。また、病院受付窓口でも毎月1日から配布しています。なお、都合により担当医や担当日が変更になることがあります。
  - ◆各種相談(予約制)
    - ・緩和ケア・がんよろず相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分
    - ・退院後の療養、介護に関する相談 月～金曜日(休診日を除く)9時00分～16時00分
- 予約受付 054-623-3111(代表)内線：2090 地域医療連携室医療相談担当

◆他院に通院中の方  
紹介状不要の診療科であっても、すでに他院に通院中の方は紹介状が必要な場合があります。詳しくは問い合わせてください。



## 検診を受けていますか？

### 「総合がん検診」「痛くないMRI乳がん検診」のご案内

当院では、MRI 検査機器を使った画像診断技術「DWIBS（ドゥイブス）法」による「総合がん検診」と「痛くないMRI乳がん検診」を実施しております。

完全予約制ですので検診を希望される方は、ご予約のうえ受診をお願いいたします。

#### 総合がん検診



DWIBS 法とは、MRI を利用して体の広い範囲（耳の下あたりから太ももまで）にがんや転移などがいないかを探す全身検査です。当院ではこの技術を活用し、総合がん検診を実施しています。MRI は放射線を使用しないため、短期間に何度も検査が可能です。また、検査薬の注射や食事制限もありません。

検査方法は、MRI の検査台に仰向けに寝た状態で、40 ～ 50 分撮像をします。

総合がん検診では更に、採血による腫瘍マーカー検査も合わせて行います。

半年に 1 回の検査で、より精度を高めた検査結果を得られます。

〔完全予約制・料金〕 1 回目 MRI 検査 + 血液検査 49,500 円（税込）

2 回目 MRI 検査 38,500 円（税込）

#### 痛くないMRI乳がん検診



痛くないMRI乳がん検診も DWIBS 法による画像診断技術を利用した検査です。

検査の特徴は、乳房を器械にはさんだり、触ったりしないため、痛みがありません。また、検査着を着たまま検査を行いますので、乳房を見られることもなく、MRI にうつ伏せに寝た状態で、約 20 分間の撮像を行います。

日本人に多いとされる高濃度乳腺（デンスブレスト）による影響を受けにくく、画像の有効感度範囲が広く、満遍なく撮像ができます。

〔完全予約制・料金〕 33,000 円（税込）



#### 〔※ご予約の際の注意点〕

体内にペースメーカーが入っている方、がん治療中または経過観察中の方、狭い場所が苦手な方、妊娠中または妊娠の可能性のある方など、検診を受けられない場合があります。ご予約の際、ご確認ください。

〔予約・問い合わせ〕 健康管理センター 電話 054-623-3111（代表）

寄付

## はごろもフーズ株式会社様より 寄付金を受領いたしました

はごろもフーズ株式会社様より、13年連続となる寄付金100万円を受領いたしました。更なる医療の質向上のため、活用させていただきます。誠にありがとうございました。

動画配信

## 薬剤師の仕事紹介を動画配信

薬剤師の仕事を多くの方に知っていただくために、当院薬剤師の仕事の様子をYouTubeで動画配信しています。当院ホームページまたは、焼津市ホームページ/焼津CITYチャンネル/市政情報から視聴できます。薬剤師に興味のある方はぜひご覧ください。

## 初期臨床研修医を育成しています

### ■医師になるまでの歩み

医学部で6年間勉強して国家試験に合格すると「医師免許」が取得できます。しかし、これですぐに医師として独り立ちできるわけではありません。医師法第16条の2第1項の規定により、診療に従事しようとする医師は、2年以上の初期臨床研修が義務づけられています。初期臨床研修では内科・外科・小児科……と複数の診療科で実際の医療に携わりながら、知識を深め経験を積みます。この初期臨床研修を通して自分の進むべき診療科を決め、それぞれの診療科ごとの専門研修に進んでいきます。

### ■研修医教育の取り組み

当院は、厚生労働省から臨床研修病院として指定されており、将来日本の医療を支える医師育成のため、協力型病院・協力施設・関連大学病院と連携をとりながら研修プログラムを組み立て、研修医の教育に積極的に取り組んでいます。そのため、指導医の指導・監督のもと、研修医が外来・病棟で診療を行うことがあります。研修医の育成は、医師不足の解消だけでなく、医療の質の向上にも繋がっています。趣旨をご理解いただき、みなさまのご協力をお願いいたします。

総合研修指導室



## 病院外来駐車場のお知らせ

当院職員宿舎の建て替え工事着手のため、病院第3駐車場（外来用）が閉鎖となりました。

第1・2・7駐車場をご利用ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

